

未知との戦い

広野っ子のみんな 元気で生活していますか。保護者の皆様、日々、家庭での生活および健康管理、学習支援などにご配慮いただきありがとうございます。

いよいよ5月を迎えることになりました。私にとっても学校にとっても、一番さみしい5月となりました。安倍首相からの非常事態宣言を受け、不要不急の外出制限、県外をまたいでの移動の自粛など、新型コロナウイルスの戦いが未だ続いています。自由に外で遊べない、外出もできない、やりたいことも自由にできない、学校にも行けない、そんな生活を誰が想像したでしょう。私には想定できなかった。学校はたのしいところです。子どもたちにとって、たのしい学校を創ることこそ、私の夢であり生きがいでした。子どもたちは、今何をしているのかな。元気であるのかな。ちゃんと家庭学習ができているのかな。思いはつるばかりですが、感染予防の観点からできることは、「家庭とつなぐのは、ポスティングとホームページだ。」として、やっきになって、学校再開を夢見ていました。しかし、そんな中、非常事態宣言の延長、そして、5月31日までの休校の再々延期が発表されました。日本中の感染状況から鑑みても仕方がない、そして何よりも、人命、健康が最優先だと思いつつも、新型コロナウイルスの脅威を感じざるを得ないとともに、残念でたまりません。普通に遊び、普通に旅行したり、普通に仕事に行ったり、普通に学校に行ったり、いつ普通の日常生活が戻ってくるのか、想像できません。ゴールの見えないしんぼうは、誰にとっても一番苦しいのです。



昨年度の学習の様子

でも、考え方を変えて、やや、感染率が下がり傾向にある今

6月1日は夢の学校再開の日

と、位置付けてはどうでしょうか。

私の好きな言葉に、斎藤一人さんの

**地球は行動の星 動かないと何も始まらない！
目標を設定することで 夢は動き出す**

6月1日を学校再開の日と位置付けることができるんだ。今、みんなの我慢のおかげで、うっすらと光が見え始めたと感じ、「学校再開」を私たちの願う夢として、6月1日を目標として設定するのです。そして、夢の実現に向けて動き出すのです。

元気に走る広野っ子たち



目標設定することで、大きな課題が見えてきました。3か月間、登校できなかった子どもたちに、生活習慣・学習習慣を身につけさせること。一人で頑張ってきた子どもたちに生まれてきた個人差にどう対処するのか。遅れている学習をどう取り戻すのか。など課題は山積です。

でも、裏面に掲載しているように、もう広野小学校は動き出しました。さあ、みんなで夢の実現にむけて動きましょう。保護者の皆様、どうかご理解の上、協力お願いいたします。

校長 古谷 昭文